

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

(1) 学校の状況

特色ある教育活動により、近隣の中学校を中心に、広く県内外からも生徒が集まっている。地域の生徒数減少や地元中学校の統合等に対応し、より特色ある活動を展開し、募集定員の確保を図りたい。また、第七次秋田県高等学校総合整備計画の統合対象校として、近隣の高校と統合へ向けての作業も必要になってくる。

(2) 生徒の状況

生徒は素直で礼儀正しく、明朗である。授業態度も真面目で、進路実現に向けて真摯に取り組む姿勢も身に付いている。

(3) 教育課程

「特別進学コース」「会計情報コース」「ビジネスコース」「生活福祉コース」の3クラス4コース制であるが、今後、統合再編を見据え、より特色ある教育課程の編成が求められる。

(4) 部活動

部活動は全員加入制であり、活動は非常に活発で、特に男子バレーボール部や吹奏楽部は全国水準の活躍をしている。また、陸上競技部や女子バレーボール部、卓球部、美術部、JRC、家庭クラブ、パソコン同好会等も顕著な実績を有している。

(5) 進路状況

総合的な学習の時間である「パスカルタイム」を通して、心の教育及び全人間的な教育を根本に据えた進路指導が推進されている。進学と就職の割合は、進学が半数強、就職が半数弱程度である。早い段階からの進路指導が定着し、就職希望者全員が早期に内定を得ている。進学に関しては、男子バレーボール部の生徒を中心に国公立大学への進学を果たしているほか、国公立大学をはじめ、4年制大学への進学者が増加している。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

(1) 将来予測

本校は横手市西部地区の教育拠点校としての使命を果たしているが、将来的に生徒数の一層の減少が予想される。生徒の興味・関心や適性等を踏まえながら、近隣の高校との統合を見据え、より一層特色ある教育を推進していくことが求められる。

(2) 教育課程

「特別進学コース」の強化を図るとともに、「会計情報コース」「ビジネスコース」「生活福祉コース」の一層の充実を図る。将来的には統合再編を見据えた、教育課程の検討・改善が必要になる。

(3) 進路状況

これまでの「パスカルタイム（H14～H23）」を発展させた「パスカルⅡ（H24～）」の取組により、自己教育力の育成や社会的自立を目指した「キャリア教育」の一層の充実を図りながら、進路実現に結び付けている。なお、就職と進学の割合はほぼ同数であるが、特別進学クラスの教育課程の見直しや高大連携の推進、土曜学習の強化等、進学対策の充実により、国公立大学等への進学者の増加を目指している。

3 目指す方向性や学校像

(1) 雄物川高校の目指す学校像

生徒の豊かな心を育み、社会的自立を支援する学校

(2) 雄物川高校生のめざす生徒像

- ① 正しい判断力と正義感のある生徒
- ② 思いやりと豊かな心をもつ生徒
- ③ 自信をもって主体的に行動できる生徒
- ④ 社会性やコミュニケーション能力の高い生徒
- ⑤ 向上心をもち社会的自立を目指す生徒

(3) 特色ある学校づくりの方向性

- ① 少子高齢化による生徒数の減少や中学校の統合による通学区の変化を踏まえ、横手市西部地区で存在感を示すために特色のある学校づくりをダイナミックに展開する。
- ② 保護者や地域の要望に応え、進路指導や特別活動指導、生徒指導に重点を置いた教育活動を重視し、生徒の進路実現と社会的自立を力強く支援する。

(4) 具体的なアクション

- ① **中高連携**
横手明峰中学校をはじめとする横手地区（平鹿・十文字・横手南・横手北・増田）の各中学校や東由利中学校等との連携を一層強化する。
- ② **高大連携**
秋田大学及び秋田大学横手分校・秋田県立大学・秋田県立衛生看護学院等との連携・交流を進め、地域課題解決型協働学習を推進する。
- ③ **地域連携**
地域産業の基盤を支える人材育成の役割を担い、自治体と連携した活動や地域活性化に取り組み、地域に開かれた学校づくりを推進する。

4 5年間で達成を目指す具体的目標

- (1) **進路指導** 国公立大学5名以上合格、公務員10名以上合格、民間就職第一志望全員合格、資格取得率の向上（全商簿記検定2級・全商電卓検定3級90%以上合格等）
- (2) **生徒指導** 生徒全員がさわやかな挨拶・整容を実現、問題行動・いじめゼロ
- (3) **部活動** バレーボール部の全国大会優勝、吹奏楽部の東日本大会優勝、陸上競技部のインターハイ出場、他の部活動の全県大会上位入賞

5 具体的な取組（資料参照）

(1) 主体的な探究を促す授業の実践・・・授業改善・教材開発の推進

- ① 中高大連携授業研究会の定期開催
- ② 横手明峰中学校との授業連携
- ③ 学力向上に向けた積極的な授業改善

(2) 進路サポート体制の充実・・・全職員による面談の推進

- ① 全職員によるインターンシップ指導・受験面接指導
- ② 職場開拓・就職支援の充実
- ③ 職員の授業力向上と課外補習の充実による進学実績の向上
- ④ セルフコーチングとシティズンシップ指導の推進による自己有用感の醸成（パスカルⅡ）

(3) 挨拶、正しい整容、道徳心の定着・・・保護者との連携強化

- ① 朝の挨拶運動の推進（通年）
- ② P T A登校時一声運動の推進（年5回）
- ③ 教育相談・特別支援体制の充実

(4) 部活動や地域連携による社会性の育成・・・地域との連携強化

- ① 部活動・生徒会活動の活性化
- ② 「朝のつどい」「パスカルⅡ」の充実
- ③ 地域ボランティア活動の推進と商品開発
- ④ キャリア教育の推進と地域リーダーの育成